

(社) 日本建築学会
戸建て住宅の三成分振動特性測定・評価 WG 第 4 回議事録 (案)

A. 日 時： 平成 21 年 4 月 21 日 (火) 14:00—17:00

B. 場 所： 建築会館会議室

C. 出席者：(名簿順)

主査 国松主査以下、13名

E. 配付資料：

番号 内容

4-0 第 3 回 WG 議事録 (案)

4-1 枠組壁工法 4 階建つくばモデル棟での人力加振結果

4-2-1 新幹線軌道近傍に建設された住宅の振動対策

4-2-2 直列二重制振装置資料

4-3 平成 20 年度振動測定結果 (CD) の概要

4-4 平成 21 年度振動調査候補 (案)

4-5 環境振動を対象とした家屋振動特性の把握に関する調査のお願い

4-6 標準加振装置による家屋振動特性調査方法の概要

4-7 環境振動対策事例検討 SWG 設置申請書

4-8 住宅瑕疵担保履行法について

D. 議事内容：

(1) 第 3 回 WG 議事録 (案) の確認 (資料 4-0)

1) 前回 WG の議事録 (案) の内容を確認し、了承された。

(2) 枠組壁工法 4 階建つくばモデル棟での人力加振実験結果について (資料 4-1)

1) 資料をもとに、枠組壁工法 4 階建つくばモデル棟において実施した人力加振による減衰定数の算出方法とその結果について説明があった。

2) 2 階建てなどの戸建て住宅にも同様な方法が適用できるかどうか、本年度実施予定の展示場での測定の機会に実験してみてもどうか。

3) 常時微動や加振器を用いる方法と比較して、戸建て住宅における実用性を確認する必要がある。

4) 加振力の定量化など、今後の検討が必要であるが、加振器などが不要なく、非常に簡便な方法であり、実施例が蓄積していけば有用な資料となる。

(3) 新幹線軌道近傍に建設された住宅の振動対策の紹介

1) 資料 4-2-1 をもとに、新幹線軌道から 150 m にある軽量鉄骨系 2 階建て住宅における振動対策事例について説明があった。

2) 資料 4-2-2 をもとに、直列二重制振装置に関する説明があった。

(4) 環境振動を対象とした家屋振動特性の把握に関する調査について

1) 資料 4-3 をもとに、平成 20 年度に実施した振動測定の結果について説明があった。

2) 資料 4-4、資料 4-5 をもとに、本年度の振動調査候補の案について説明があった。

(5) 標準加振装置による家屋振動特性調査方法について（資料 4-6）

1) 資料 4-6 をもとに、建築研究所の枠組壁工法 4 階建つくばモデル棟での実験に用いた標準加振装置について説明があった。

2) 展示場内に車両が進入できない場合もあり、他の固定方法を検討する必要がある。

3) 周りに民家のない単独展示住宅などで、加振実験が可能なものがあれば、検討いただきたい。

(6) 環境振動対策事例検討 SWG の設置について（資料 4-7）

1) 資料 4-7 をもとに、SWG 設置についての説明があった。

2) 第 1 回 SWG は、5 月 20 日 15 時を予定。

3) 各社から提供できる資料等があれば、提供いただきたい。

4) 正式メンバーには、改めて検討内容等を E メールにて連絡する。

(7) その他

1) 次回 WG は、9 月以降に開催することとし、E メールにて日程調整を行う。

2) 6 月と 7 月に実施する展示場での測定結果を次回 WG にて中間報告し、それを元に改めて本年度後半の調査方針を検討する。

以上